

認知症に関する活動計画（概要）

長崎県作業療法士会では地域生活推進局内に認知症対策班（2024年度 名称変更）を設置。主な取り組みとして①認知症ケア資質向上のための研修事業の企画・運営 ②認知症の人と家族の会との連携強化 ③県や市町村からの委託事業や要望への対応に取り組んでいる。

今年度は県士会員が地域活動を行う上でのスキルアップを目指した研修会の開催、県士会員同士の顔が見える関係の構築を図り円滑な地域活動を行うための情報交換の場を研修会に盛り込んだ。

県士会員向け 認知症に関する活動のアンケート調査

県士会員対象に認知症に関する活動のアンケート調査を実施し、85人からの回答を得ることができた。アンケート調査結果より長崎県士会員のうち3割近くが認知症に関する地域活動を行っており、活動内容として一番多かったのが「行政や地域包括支援センターとの連携、次いで「他職種、外部機関を対象とした研修会の開催」「カフェ・集いなど社会資源への参加」であった。各自治体や事業所単位でOTの関わりはあるが県士会としてのOT同士の繋がりはほとんどなく、各OTが独自で活動していることが多い。今後は県士会員として横の繋がりを持ち、活動内容の共有や情報交換会を定期的に行っていききたい。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

県と公益社団法人認知症の人と家族の会長崎県支部は、毎年9月21日の「世界アルツハイマーデー」及び9月の「世界アルツハイマー月間」に共同で、認知症の理解を深めていただくための普及啓発を目的として県内各地で、昨年度に引き続き認知症のイメージカラーであるオレンジのライトアップを実施。

認知症予防事業

市町村からの依頼に対し脳トレ教室などの講師としてOTが従事している。また、最近ではチームオレンジの活動としてOTが参加していることも多く、認知症予防に関する講習会やアクティビティを実施している。

また、認知症対策班主催で地域で活動を行う県士会員の認知症に関する知識のアップデート、また研修会を実施する際に認知症に関わる専門職として分かりやすく研修を行うための研修会を開催した。



今後の展開

- ・各市町村において行政からのニーズに対応できる県士会員の育成
- ・県士会員の顔が見える関係を作るための座談会の開催